

野焼きしたヨシ群落。つい先日まで焼け野原でしたが、今(5月)では一面緑のじゅうたんのようです。野焼きにはヨシの新芽の成長を促す働きがあります。

Vol.108
令和元年度6月号

伊豆沼に自生する草花



アサザ



カキツバタ

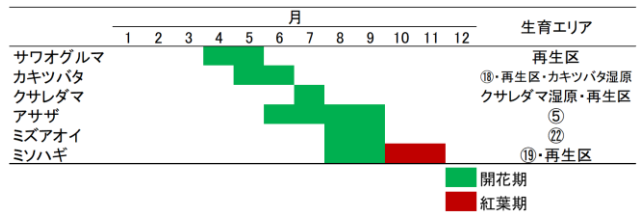


ミスアオイ



ミソハギ

伊豆沼は、ハスの日本最大級の群生地として知られています。夏にハスの花が沼一面に咲き誇る様子は美しく、その様子を見に多くの観光客が訪れます。あまり知られていませんが、伊豆沼には他にも多くの美しい草花が自生しています。しかし、数が減少しているものが多いため、人の目に触れることは少ないかも知れません。伊豆沼北岸に位置する水生植物園では、減少著しい植物の保護と増殖を行っています。また園内には、保護された希少種が植栽されているため、四季折々の花を散策路から観察できます。是非水生植物園にご来園下さい。



自然体験講座参加者募集

昆虫採集と標本作り

沼のまわりで昆虫を採集し、標本を作成します。夏休みの自由研究にいかがですか。

第3回 7/21(日)10:00~15:00

第4回 8/3 (土)10:00~15:00

* 標本は、乾燥後にケースに収めていただく完成です。
2週間後に直接引き取りにお越しください。



伊豆沼漁師体験

いろいろな網を使い、魚を取る漁師になろう。大きな魚と出会うかもしれません。

第5回 8/17(土)10:00~13:00

第6回 9/15(日)10:00~13:00

対象は小学生以上、第3・4回は小学生のみ(各回小学生は保護者同伴)。定員は各回20人申込先着順。参加費中学生以上800円、小学生600円(昼食・保険代)。持ち物は長靴、汚れてもいい服、着替え、帽子、飲み物、タオル。集合場所は宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター(鳥館)。◆お申し込み、お問い合わせは宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター TEL0228-33-2216

「ドローンを活用したガンカモ類調査ガイドライン」を発行しました

昨今、ドローンが多く活用されるようになりましたが、運用による野生動物への影響を評価した例はありません。このガイドラインでは、野生動物へリスクを与えずにドローンを用いた調査を可能とするため、水鳥、特にガンカモ類を対象に、ドローンによる接近実験をはじめとするさまざまな実験を行いました。その結果にもとづいてガンカモ類にできるだけ影響を与えずに調査にドローンを活用する方法をガイドラインとしてまとめたものです。下記からダウンロードいただけます。



http://izunuma.org/pdf/drone_guideline.pdf



自然再生協議会運営事務局の視察



4月23日に環境省や宮城県、栗原市、登米市の伊豆沼・内沼自然再生協議会の運営事務局がブラックバス駆除に用いている電気ショッカーボートの運用状況や水生植物の保全の場となっている植物園を視察しました。



駆除されたオオクチバス

建築家の隈研吾氏が来館しました

東京オリンピックの新国立競技場の設計で著名な建築家の隈研吾氏が宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターを訪れました。館内のさまざまな展示物をご覧になり、生き物についての質問もいただきました。ハクチョウをイメージした当館の設計を世界的な建築家がどのように感じられたのか・・・緊張して何うことができなかつたので、いつか機会がありましたらお尋ねしたいと思います。



〒989-5504 宮城県栗原市若柳上畑岡敷味17-2
宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター
指定管理者 (公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団

Tel0228-33-2216 Fax0228-33-2217
ホームページ:<http://izunuma.org/>
E-mail:izunuma@circus.ocn.ne.jp

